

官報

號外 昭和二十年十二月十二日

○第八十九回 帝國議會 貴族院 議事速記 第八號

昭和二十年十二月十一日(火曜日)午前
十時五分開議

議事日程 第八號

昭和二十年十二月十一日

午前十時開議

第一 戰爭死亡傷害保險法及戰時
特殊損害保險法廢止等ニ關スル

法律案(政府提出) 第一讀會

第二 國民貯蓄組合法中改正法律
案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第三 防空法廢止法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 大日本航空株式會社法廢止
法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 石油業法外十三法律廢止法
律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(公爵徳川國順君) 報告ヲ致サ
セマス

〔寺光書記官朗讀〕

去ル八日本院ニ於テ可決シタル左ノ政
府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

裁判所構成法戰時特例廢止法律案

戰時民事特別法廢止法律案

戰時刑事特別法廢止法律案

判事及檢事ノ退職並ニ判事ノ轉所ニ
關スル法律案

鐵道敷設法戰時特例廢止法律案
同日本院ニ於テ承諾スルコトヲ議決シ
タル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院
ニ送付セリ

昭和二十年勅令第五百四十二號

同日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

戰爭死亡傷害保險法及戰時特殊損害
保險法廢止等ニ關スル法律案

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

國民貯蓄組合法中改正法律案可決報
告書

防空法廢止法律案可決報告書

大日本航空株式會社法廢止法律案可
決報告書

請願文書表(第一回報告)

昨十日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セ
リ

石油業法外十三法律廢止法律案可決
報告書

○議長(公爵徳川國順君) 是ヨリ本日
ノ會議ヲ閉キマス、議事日程ニ入ルニ
先立テマシテ御諮リヲ致シマス、酒井

副議長故障ニ付、議長ノミニテハ何時
議事ニ支障ヲ來サセムニシテ置ク

カラ、此ノ際假議長ノ選舉ヲシテ置ク
方ガ、議事ノ進行上便宜カト存ジマ
ス、以上議長ノ發議ニ御異議ヲザイマ
セヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイ
ト認メマス

○子爵戸澤正己君 只今議題トナリマ
シタ假議長ノ選舉ニ付キマシテハ、先
例ニ依リ、本院規則第十四條第二項ニ
依リマシテ、本會期ヲ通ジ議長ニ委任
スルコトノ動議ヲ提出致シマス

○男爵島津忠彦君 贊成

○議長(公爵徳川國順君) 戸澤子爵ノ
動議ニ御異議ヲザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイ
ト認メマス

○議長(公爵徳川國順君) 日程第一、
戰爭死亡傷害保險法及戰時特殊損害保
險法廢止等ニ關スル法律案、政府提出、
第一讀會、濹澤大藏大臣

戰爭死亡傷害保險法及戰時特殊損害
保險法廢止等ニ關スル法律案

勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス

昭和二十年十二月八日

内閣總理大臣 男爵幣原喜重郎

内務大臣 堀切善次郎

大藏大臣 子爵濹澤 敬三

運輸大臣 田中 武雄

戰爭死亡傷害保險法及戰時特殊損
害保險法廢止等ニ關スル法律案

第一條 左ニ掲グル法律ハ之ヲ廢止
ス

戰爭死亡傷害保險法

戰時特殊損害保險法

第二條 生命保險中央會法中左ノ通
改正ス

第十九條第二項第三號中「第一號
ニ掲グルモノヲ除クノ外」及同項
第四號中「第一號及」並ニ同項第
一號及第二號ヲ削リ同項中第三號
ヲ第一號トシ第四號ヲ第二號トシ

第五號ヲ第三號トス

同條第二項ヲ削ル

第二十六條 削除

第二十八條 削除

第三十條及第三十一條中「戰爭危
險ノ保險ニ關スル業務以外ノ業務
ニ因リテ得タル」ヲ削ル

第三十三條 削除

第三十四條第四項中「及第二項」
及同條第一項ヲ削ル

第三十五條第一項中「及第二項」
ヲ削ル

第三十六條中「五億圓」ヲ「二億
圓」ニ改ム

第四十六條 削除

第四十九條第一項第六號及第二項
ヲ削ル

第三條 損害保險中央會法中左ノ通
改正ス

第十八條 削除

第十九條第一項第一號中「普通保
險」ヲ「損害保險」ニ改メ同項中

第二號ヲ削リ第三號ヲ第二號トシ

第四號ヲ第三號トス

同條第二項中「第三號」ヲ「第二
號」ニ改ム

第二十四條第一項ヲ削ル

第二十五條中「普通保險」ヲ「損
害保險」ニ改ム

第四十一條 削除

附則

第四條 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施
行ス

第五條 戰爭死亡傷害保險法第一條
及第五條乃至第八條ノ規定ハ本法
施行後ト雖モ當分ノ内仍其ノ效力
ヲ有ス

戰爭死亡傷害保險法ハ本法施行ノ
際現ニ存スル戰爭死亡傷害保險契
約及第三項ノ規定ニ依リ更新セラ
レタル戰爭死亡傷害保險契約ニ關
シテハ本法施行後ト雖モ仍其ノ効
力ヲ有ス本法施行前(前項)場合
ニ於テハ同項ノ規定ニ依リ戰爭死
亡傷害保險法第六條ノ規定ガ其ノ
效力ヲ有スル間)ニ爲シタル行爲
ニ對スル罰則ノ適用ニ關シ亦
同シ

本法施行ノ際現ニ存スル戰爭死亡
傷害保險契約ハ本法施行後ト雖モ
仍從前ノ例ニ依リ一回ヲ限リ之ヲ
更新スルコトヲ得

第六條 戰時特殊損害保險法第一
條、第十條、第十四條、第十五
條及第十八條ノ規定ハ本法施行後
ト雖モ當分ノ内仍其ノ效力ヲ有ス

戰時特殊損害保險法ハ本法施行ノ
際現ニ存スル戰爭保險契約ニ關シ
テハ本法施行後ト雖モ仍其ノ效力
ヲ有ス本法施行前(前項)場合ニ
於テハ同項ノ規定ニ依リ戰時特殊
損害保險法第十五條ノ規定ガ其ノ
效力ヲ有スル間)ニ爲シタル行爲
ニ對スル罰則ノ適用ニ關シ亦
同シ

本法施行ノ際現ニ存スル戰時特殊損害保險法ニ依ル地震保險契約ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

戰時特殊損害保險法第五條ノ損害保險契約ニ在リテハ損害保險中央會又ハ保險會社ハ同條ニ規定スル事故ニシテ本法施行後ニ發生シタルモノニ因リテ生ジタル損害ヲ填補スル責ニ任ゼズ

第七條 生命保險ニ於ケル戰爭危險(戰爭其ノ他ノ變亂ニ因ル死亡ヲ謂フ以下同ジ)ノ再保險及戰爭死亡傷害保險ニシテ本法施行前ニ生命保險中央會ノ引受ケタルモノ並ニ第五條第三項ノ規定ニ依リ更新セラルル保險ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

本法施行ノ際現ニ存スル生命保險契約ニ在リテハ保險會社ハ本法施行後ニ發生シタル戰爭危險ニ因ル保險金ノ支拂ヲ爲ス責ニ任ゼズ

第八條 本法施行前ニ爲シタル行為ノ處罰ニ關シテハ第二條及第三條ノ規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依ル

第九條 前四條ニ定ムルモノノ外本法施行ノ際必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣子爵瀧澤敬三君登壇〕

○國務大臣(子爵瀧澤敬三君) 只今議題トナリマシタ戰爭死亡傷害保險法及戰時特殊損害保險法廢止等ニ關スル法律案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ御說明致シマス、今次終戰ニ伴ヒマシテ、戰爭危險發生ノ虞ハ、特殊ノ場合ヲ除キ、殆ド消滅スルニ至リマシタノデ、戰爭危險ノ保險ヲ目的トスル諸般ノ戰時保險制度ヲ原則トシテ廢止スルヲ適

當ト認メ、其ノ爲ニ戰爭死亡傷害保險法及戰時特殊損害保險法ヲ廢止スルト共ニ、是等諸般ノ戰時的保險ノ運營機關タル生命保險中央會及損害保險中央會ノ業務ノ内容等ニモ所要ノ修正ヲ加ヘルコトト致シマシテ、茲ニ本法草案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、本法草案ノ趣旨ヲ申述ベマスレバ、先ヅ戰爭死亡傷害保險法及戰時特殊損害保險法ハ之ヲ廢止シ、是等兩法ニ基ク戰爭死亡傷害保險、戰爭保險及地震保險ハ、今後原則トシテ成立セシメナイコトニ致シマシタ、唯戰爭死亡傷害保險ニ付キマシテハ、今日尙多數ノ同胞諸君ガ海外ニ殘留セラレ、今後内地歸還ニ至ル迄ハ相當程度危險ニ曝サレル場合モアリ得ルト考ヘラレマスノデ是等ノ方々ノ便宜ヲ考慮致シマシテ、今後尙一回ヲ限り現存契約ヲ更新シ得ルコトト致シタ次第デアリマス、他方戰爭保險ニ付キマシテ、斯カル特別措置ヲ講ズル必要ヲ認メラレマスガ、地震保險ニ付キマシテハ、同保險ガ戰爭中ニ生ジタル地震損害ノミヲ填補スルノ趣旨ノモノデアアル關係上、終戰後ノ實狀ニ即セザル點モアリマスシ、勞、國家財政ノ狀況等ヲモ考慮致シマシテ、本法施行ト同時ニ將來ニ向ツテ其ノ

效力ヲ失ハセルコトト致シマシタ、固ヨリ現存地震保險契約者ニ對シ不當ナル損失ヲ與ヘザルヤウ此ノ點ハ十分考慮致シ、未經過保險料ノ返還等、適宜ノ措置ヲ講ズル所存デゴザイマス、次ニ生命保險中央會ニ付キマシテハ、其ノ業務中、戰爭死亡傷害保險ノ引受及ビ一般ノ生命保險ニ於キマス戰爭危險ノ再保險ノ引受ノ二ツノ業務ヲ廢止スルコトト致シマシテ、之ニ關聯シ

テ同會ノ經理ニ關スル規定ニモ所要ノ改正ヲ加ヘルト共ニ、從來生命保險契約ニ於ケル戰爭危險免責約款ノ無効ナラシメテ來タ強行規定ハ、右戰爭危險再保險ノ停止ニ伴ヒマシテ、之ヲ撤廢スルコトニ致シタ次第デアリマス、更ニ損害保險中央會ニ於キマシテハ、其ノ業務ノ重點ヲ戰爭保險ノ分野カラ普通保險ノ分野ニ移スコトヲ明カニ致シマシタ、尙右四法ノ改廢ニ關聯致シマシテ、必要ナル經過規定ヲ設ケマシテ、殘存事務ノ處理ノ円滑ヲ期シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御協賛アラムコトヲ希望致ス次第デアリマス

○子爵戸澤正己君 只今日程ニ上程サレマシタ、戰爭死亡傷害保險法及戰時特殊損害保險法廢止等ニ關スル法律案ハ、入營者職業保障法及國民勞務手帳法廢止法律案外五件ノ特別委員會ニ併託スルノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 贊成

○議長(公爵德川順順君) 戶澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川順順君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川順順君) 日程第二、國民貯蓄組合法中改正法律案、日程第三、防空法廢止法律案、日程第四、大日本航空株式會社法廢止法律案、日程第五、石油業法外十三法律廢止法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、是等ノ四案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川順順君) 御異議ナイ

ト認メマス、委員長向山男爵

國民貯蓄組合法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二十年十二月八日

委員長 男爵向山 均

貴族院議長公爵德川順順殿

防空法廢止法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二十年十二月八日

委員長 男爵向山 均

貴族院議長公爵德川順順殿

大日本航空株式會社法廢止法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二十年十二月八日

委員長 男爵向山 均

貴族院議長公爵德川順順殿

石油業法外十三法律廢止法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二十年十二月十日

委員長 男爵向山 均

貴族院議長公爵德川順順殿

申請ゲマス、只今舉ゲマシタ諸案ハ孰レモ先ヅ政府ノ詳細ナル説明ヲ伺ヒ、各委員ノ熱心ナル質疑、之ニ對シテ詳細ナル政府側ノ御答ヲ得マシタ結果、孰レモ討論ニ於キマシテ、特ニ發言ナク、孰レモ政府ノ原案通り滿場一致可決スベキモノト議決ヲ致シマシタ、以下質疑應答ノ主ナルモノヲ簡單ニ御紹介申上ゲ、尙政府ノ説明ニ付キマシテモ、多少其ノ前ニ申上ゲタイト存ジマス、先ヅ國民貯蓄組合法中改正法律案デアリマスガ、是ハ戰後財政金融運營ノ爲、又悪性インフレノ防止等ノ爲ニ國民ノ貯蓄ハ益々必要デアアル、故ニ本法第一條中「戰時」ニ準ズベキ事變ノ場合ヲ含ム」ニ於ケル「ト云フ」制限規定ヲ除ク必要ガアル爲ニ、政府ハ本法案ヲ提出シタノデアアルト云フコトデアリマス、質疑ニ於キマシテ貯蓄組合ニ付テ何カ新シイ工夫ハナイカト云フ間ヒニ對シマシテ、決定シタモノトシテハ地域組合、是ハ隣組ヲ中心トシテ婦人會、其ノ他類似ノ會之ニ統一シタモノデアアル、尙高額貯蓄者組合、預金者貯蓄組合等ハ何レ作ル、問題ノ貯蓄額ノ割當ハ今十二月分カラ之ヲ行ヒマスガ、從來ノ天降リノ新方法ヲ改メテ、各組合ノ内容、物價、其ノ他終戰後ノ狀況ヲ勘案シマシテ、新ナル方法ニテ目標ヲ定メ、一方組合員各人ニモ案ヲ立テサセテ、兩者ヲ比較シテ、然ルベク折リ合フコトニスルト云フコトデアリマス、又隣組ノ貯蓄ハ戰時中ノ勞ニ報ヒマスル爲ニ拂出ヲ認メル、但シ之ニ依リマシテ通貨ノ膨脹ヲ避ケル爲ニ一年以上ノ定期預金トスルト云フヤウナ點ガ主ナ質疑應答デアリマス、次ノ防空法廢止法律案、政

國民貯蓄組合法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二十年十二月八日

委員長 男爵向山 均

貴族院議長公爵德川順順殿

防空法廢止法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二十年十二月八日

委員長 男爵向山 均

貴族院議長公爵德川順順殿

大日本航空株式會社法廢止法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二十年十二月八日

委員長 男爵向山 均

貴族院議長公爵德川順順殿

石油業法外十三法律廢止法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二十年十二月十日

委員長 男爵向山 均

貴族院議長公爵德川順順殿

府ノ説明ノ要旨ハ、防空法ハ昭和十二年ニ制定セラレ、軍ノ防衛ニ即應シテ實施セラレベキ民防ノ基礎法トシテ今日ニ及ンダノデアリガ、今ヤ終戦ニ伴ヒ民防空ハ全クノ必要性ヲ喪失シタ、從ツテ今日之ヲ廢止スル爲ニ本法案ヲ提出シタ、唯防空ニ於ケル建築ノ制限ニ關スル規定ハ本來都市計畫法ニ規定セラレベキ妥當トスルモノデアツテ、防空法廢止ノ後ハ之ヲ都市計畫上ノ制度ニ移行スル必要ガアルノデ、此ノ新制度ニ移ルベキ暫クノ間效力ヲ保持セシメル爲ニ經過規定ヲ設クルト共ニ、扶助金、補助金、其ノ他金錢支拂ニシテ既ニ支拂義務アルモノハ、防空法廢止後ト雖モ之ヲ支給ヲ爲ス必要ガアル、又是等ニ對シテノ訴訟ニ付テモ、ソレノ所定ノ期間ハ出訴權ヲ認メル要ガアルノデ、是ガ爲ニ必要ナル經過規定ヲ設ケタト云フコトデゴザイマス、質問ト致シマシテハ、兩委員ヨリ、戰災跡地ノ復興ト都市計畫トニ付キマシテノ質問ニ對シテ、内務省當局ハ前者ハ戰災復興院、後者ハ内務省ノ仕事デアリ、内務省ハ國土計畫ト云フ見地カラ、戰災復興院ノ計畫ハ之ヲ見居ルト云フ答ニ對シテ、重ネテ同委員ヨリ戰災復興院ノ仕事ノ重要性ヲ述べラレマシテ、復興ノ單ナル燒跡ノ整理復舊ト考ヘズニ、國土計畫上ノ緊要ナル問題デアルト云フコトヲ銘記シテ貰ヒタイ、之ニ付テハ、内務省ハ戰災復興院ニ大ナル發言權ガアルト云フコトヲ能ク承認シテ貰ヒタイト云フコトヲ強調セラレマシタ、又強制疎開ニ關シマシテ、其ノ後ノ狀況、扶助金、辨償金等ノ豫算並ニ支拂關係、疎開地ノ利用ノ現狀、地代、期限等ニ付テ質問ガアリマシタ

ニ對シマシテ、詳シク答辯ガゴザイマシタガ、尙豫算ハ不足致シテ居リマス現狀ナノデ、次ノ議會ニ要求ヲスル豫定デアルト云フコト迄言及サレテ居リマス、後ハ速記録ニ譲リマス、大日本航空株式會社法廢止法律案ニ付キマシテハ、商工大臣ヨリ次ノヤウナ説明ガゴザイマシタ、大日本航空株式會社ハ、國際航空ノ東亞ニ於ケル發達、列強ノ進出等ニ鑑ミマシテ、内外航空路ノ開發ヲヤル爲ニ設ケラレタ本邦唯一ノ航空會社デアリガ、敗戦ニ依リ、聯合國ヨリ一切ノ航空ヲ禁止セラレ、本會社モ既ニ十月末日ニ解散ヲシテ居ル、且下清算手續中デアリ、從ツテ不用トナリタル本會社法ヲ廢止スル、但シ附則ハ經過的ニ之ヲ殘ス、質疑ノ中ニ同會社解散ニ伴フ株主ヘノ配分ノ程度ハ如何ト云フ問ニ對シマシテ、命令ニ依リ投資ニ對シテハ、政府ハ之ヲ補償スル義務ガアルト考ヘル、聯合國ニ引渡シタ財産、之ニ付テハ早急ニ換價處分ガ困難ナ爲、其ノ他色々ノ事情デ、差向キ株主ニ多クノ配分ヲスル餘裕ハナイト思フ、又會社ノ従業員ノ身上ニ關シマス間ニ對シマシテハ、戰時中ハ全部軍屬待遇ニシテアツタ、解散前ニ全部解僱ノ手續ヲ執ツタ、操縦員等特殊ノ技術者ノ轉職ニ付テハ、必ズシモ満足スベキ現狀デハナイ、善處シタイト考ヘテ居ルケレドモ、ナカノムツカシイ問題ガアルト云フヤウナコトデゴザイマシタ、石油業法外十三法律廢止法律案ニ付キマシテハ、商工大臣カラ詳シイ説明ガ先ヅゴザイマシタ、商工省關係ノ法律案ノ内容ハ戰時色濃厚ナ法律デアツテ、此ノ際廢止シテモ別ニ混亂ガ起ラヌ性質

ノモノヲ撤廢スル、石油業法外九事業法、軍需會社法、輸出入品等臨時措置法、國家總動員法第十八條ノ規定ニ依ル法人等ヲシテ行政官廳ノ職權ヲ行ハシムルコトニ關スル法律及ビ石油專賣法ノ廢止ガ是デアリ、第一ニ石油業法外九事業法ノ廢止デアリガ、各種事業法共通ノ内容ハ、軍需生産増強ノ爲事業開始ノ許可制ノ採用、免稅其ノ他ノ經濟上ノ特典ヲ賦與スル、又事業ニ對スル監督規定ヲ置クト云フヤウナコトデアリ、併シナガラ終戦ト共ニ經濟ノ基調ニ變化ヲ來シ、法律ノ規定ヲ以テ許可制ヲ採用スルコトハ不適當デアリ、免稅其ノ他ノ經濟上ノ保護モ企業ノ自由ナル活動ヲ基本トスル今後ノ經濟ノ下ニ於テハ、當然撤廢スベキモノデアルトテ、戰時ニ於ケル石油業法其ノ他九事業法ノ各々ノ特質ニ付テ詳シイ説明ガゴザイマシタ、各事業法ニ對シテノ説明ヲ略シマス、第二ニ軍需會社法ハ、軍需生産増強ノ爲ニ、軍需企業ニ付生産責任體制ヲ確立セムトシタモノデアリガ、戰爭終結ト共ニ、斯カル戰時中ニノ存續ノ意義ヲ有スル法律ハ之ヲ殘置スルノ必要ハ全然失ハレタノデ、既ニ二十年八月十五日附ヲ以テ軍需會社ノ指定ヲ取消シ實施シタ結果、本法ハ死文化シテ居ル、但シ損失補償ノ問題ニ付テハ、廢止法案中ニ經過規定ヲ設ケテアル、次ニ輸出入品等臨時措置法ハ、其ノ基礎タル國家總動員法ノ廢止ガ此ノ議會ニ提案セラレテ居リ、終戦後斯カル戰時立法ハ廢止セラレルノガ當然デアリ、唯終戦後未曾有ノ窮境ニ悩ム我が國ノ經濟ニ於テ、物資統制ノ枠ヲ今直チニ撤廢スルコトハ許サレナイ、從ツテ經過規定トシテ

同法廢止ノ際現存スル命令ニ付テハ、六箇月ヲ限リ其ノ效力ヲ有スルノ暫定措置ヲ講ジテ居ル、併シ終戦後廢止スルモ支障ナキモノハ逐次撤廢致シテ居ル、次ニ昭和十七年法律第十五號、即チ重要産業團體令ニ依リ統制會ニ行政官廳ノ權限ヲ行ハシムルコトヲ規定シタ法律ノ廢止デアリマスガ、是ハ統制會廢止ニ付テハ、未ダ聯合國側トモ打合せ中デアリ、各統制會自身ソレノ自主的團體ニ改組セムトスル機運強キニ鑑ミテ、戰時統制ノ殘渣デアリ權限委讓ノ法律ヲ撤廢スルノデアリ、最後ニ石油專賣法ノ廢止ニ付テデアリマスガ、戰時中逼迫セル石油ノ軍需産業等ヘノ供給ヲ迅速の確ニ行フ爲、之ガ管理把握ヲ徹底ヲ期スル爲、專賣制度ヲ採用スルニ至ツタノデアリ、併シナガラ斯カル措置ハ戰時中ノ必要ニ基キ變則的ナモノデアツテ、且專賣制ノ運用自體モ政府自身ニ貯油設備及ビ輸送設備等ノ施設ヲ有セザル爲、殆ド其ノ實效ヲ擧ゲ得ナカッタモノデアリガ、終戦ト共ニ能ク限リ自治統制ニ移行スル爲、國家專賣ノ方式ヲ撤廢セムトスルノデアリ、之ニ對シマシテ各委員ヨリ、單リ法律案ノ内容ニ付テノミナラズ、商工行政ノ全般ニ互リマシテ熱心ナル質問ガアリマシタ、其ノ主ナルモノヲ申上ゲマス、液體燃料ニ關シマシテ今後ノ見透シハドウカト云フノニ對シマシテ、政府ハ國產原油ノ不足分ハ輸入ニ待タザルヲ得ナイ、此ノ爲今聯合軍司令部ニ要請中デアリ、人造石油事業ノ將來ニ付キマシテハ只今ノ狀況カラ擴張ハ不可能デアリ、又原價高ノ爲ニ將來普通ノ方法デハ辿モ算盤ニ乘ラナイ、從ツテ只今

アル設備ノ大部分ハ、之ヲ人造肥料工業ノ方ニ轉換ヲスル、軍需會社ノ補償ノ問題ニ付キマシテハ、大藏當局ト連絡ヲ取ツテ、補償委員會ト云フモノヲ作ツテ審査シタイト考ヘル、命令ニ依ル工場疎開等ノ費用ハ、嚴重ニ之ヲ査定シタ上ニ補償シタイト思フ、在察制度ニ付テハ近ク實行ニ移シタイ、戰災地ニ於ケル金屬回收ノ現狀ハ極メテ遅イ、運輸其ノ他ノ事情デ已ムヲ得ナイ點ガアルケレドモ善處シタイト思フ、統制會ノ將來ニ付キマシテハ、可及的速カニ之ヲ廢止スルコトトシテ只今折角聯合軍司令部ト折衝シテ居ル、尙各法律、特ニ製造法關係等ノ戰時中ニ擧ゲマシタ功績、色々許可ノ數デアリマシタカ、或ハ石油專賣法等ニ付キマシテハ、扱ツタ石油ノ量、金額、色々ナ數字のナ説明ガゴザイマシタケレドモ、時間ノ關係上速記録ニ讓ツテ、報告ヲ終ラシテ戴キマス、以上デ初メニ申上ゲマシタヤウニ、全法律案ヲ總テ原案通り可決スベキモノト議決ヲシタ次第デアリマス、是デ報告ヲ終リマス

○議長(公爵徳川國順君) 別ニ御發言モナケレバ四案ヲ採決ヲ致シマス、四案ノ第二議會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第二議會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵樺村家治君 贊成

○議長(公爵徳川國順君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイ

ト認メマス

○議長(公爵徳川國順君) 四案ノ第二讀會ヲ閉キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス、四案全部、委員長ノ報告通リデ御異議ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第三讀會ヲ閉カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(公爵徳川國順君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川國順君) 四案ノ第三讀會ヲ閉キマス、四案全部、第二讀會ノ決議通リデ御異議ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイト認メマス、次會ノ議事日程ハ、決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十時三十二分散會